

# 目標の進捗状況報告書

(2012年度・大学)

担当部局は   ☆印の箇所を記入してください。

## I. 評価項目・要素と担当部局

本シートでの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	経済学部
大項目	7 国際交流
中項目	
小項目	7.0.1 国際交流（国内外における教育研究交流）についての方針を明示しているか。
要素	(KG1) 国際化への対応と国際交流の推進に関する基本方針の適切性
小項目	7.0.2 国際交流（国内外における教育研究交流）を適切に行っているか。
要素	(KG1) 国際レベルでの教育研究交流を緊密化させるための措置の適切性 (KG2) 国内外の大学院間の組織的な教育研究交流の状況（院）

## II. 目標の進捗評価と進捗状況報告(2012.4.30現在の進捗状況報告)

### 《進捗評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。進捗評価はA、B、C、Dの4段階とし、2012年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 学部外国人留学生海外推薦入学制度を改善する（全学で検討されている韓国の高校との推薦入学制度導入の具体的検討、多様な国籍の留学生受け入れを促進する推薦対象高校の拡大の検討）。	→留学生の受け入れ対象国数（現状の3カ国を、5カ国・地域以上に拡大）。	D	D	B		
2. 留学生と日本人学生の交流を促進する留学生懇談会などを充実させる。	→外国人留学生と日本人学生の懇談会・懇親会の開催回数（年間2回開催）。	A	A	A		
3. 海外ゼミとのゼミ間交流を促進させるための制度を創設する。	→海外の大学と交流ゼミ数（毎年1ゼミ以上の交流の実現）。	A	A	A		
4. 経済学部生の交換留学・認定留学等の拡大を図るため、外国語の授業改革とともに、専門教育における外国語授業の拡大や、留学生に対するカリキュラムの弾力化、留学に関する積極的な情報提供などを行うものとする。	→TOEIC600点以上の学生数（600点以上を獲得する2年生を30人以上）。	B	B	B		

☆

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
	→					
	→					

### 《進捗状況》

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	学部入試検討委員会で審議し、外国人留学生海外推薦制度の導入を決定し、2013年度入試より、韓国の高等学校3校および語学学校2校からの推薦を受け入れることとなった。大きく志願者は望めないが、中国のみならず韓国からの留学生の受け入れに期待している。
目標2	→外国人留学生と日本人学生の懇談会・懇親会は例年どおり年間2回開催した。また、経済学部独自の国際パートナー制度を試み、留学生と日本人学生との交流の機会を設けた。現在は国際サークルとしてグループ単位での活動として動いている。
☆ 目標3	海外とのゼミ交流は例年どおり実施され、日本学生支援機構の留学生交流支援制度（ショートステイ・ショートビジット）に採択され、支援を受け、実施するものが3ゼミあった。交流国は、ベトナム、中国、ロシアである。
目標4	教育目標のひとつである語学教育には力をいれており、経済学部独自のTOEIC受験も実施している。平均点は、2年生で416.33点（2010年度419.06点、2009年度415.64点）であり600点以上の取得者は492人中56人。
備考	

## 《評価指標データ》

(特定項目データ)本項目は数量的なデータによる評価(現状分析)が可能のため、次のとおり指標を定め経年比較している。

【経済学部】			単位	2007	2008	2009	2010	2011	2012	備考	
指標1	国際交流協定締結機関数		機関	2	2	2	2	2	2	5/1現在	
指標2	国際交流協定締結国数		国	2	2	2	2	2	2	5/1現在	
指標3	海外からの受け入れ学生数	国数	国	—	—	—	—	—	—		
		外国人留学生	正規	人	82	73	73	69	59	57	・5/1現在(学校基本調査) ・正規とは学位取得目的
			交換	人	—	—	—	—	—	—	・累計数 ・交換は正規以外とする。
		外国人留学生在籍学生比率	正規	%	2.8	2.5	2.5	2.4	2.1	2.0	外国人留学生÷在籍学生数
			交換	%	0.1	0.2	0.3	0.3	0.1	—	
その他 (セミナー等による受け入れ)	人	—	—	—	—	—	—	—			
指標4	海外への派遣学生数	国数	国	—	—	—	—	—	—	累計数	
		人数	長期	人	14	15	9	11	12	—	・累計数 ・1学期以上を「長期」
			短期	人	33	40	19	17	31	—	・累計数 ・1学期未満を「短期」
		在籍学生比率	長期	%	0.5	0.5	0.3	0.4	0.4	—	海外へ派遣した学生数÷在籍学生数
			短期	%	1.1	1.4	0.6	0.6	1.1	—	
指標5	海外からの受け入れ教員数	長期	人	y	0	0	0	0	—	・累計数 ・1年間以上を「長期」	
		短期	人	2	3	1	1	2	—	・累計数 ・1年間未満を「短期」	
指標6	海外への派遣教員数	長期	人	1	1	3	4	3	—	・累計数 ・1年間以上を「長期」	
		短期	人	7	6	43	48	58	—	・累計数 ・1年間未満を「短期」	
指標7	国連ボランティア(UNV)の参加者数		人	—	—	0	0	1	—	・累計数 ・春・秋の合計	
指標8	外国人教員比率		%	—	—	9.3	14.0	14.0	14.0	・5/1現在	

※指標3「海外からの学生の受け入れ」の「外国人留学生」(正規)は2009年度までは1年間の累計数。2010年度以降は当該年度5月1日現在の数字。(学校基本調査に合わせた。)